

FREE

岡山ムーブアップ

vol.5

NOV 2013

三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

ELLY

SPECIAL INTERVIEW 1

SPECIAL INTERVIEW 2

Dream
E-girls
Aya

PHOTO DIARY

JAPAN MOVE UP
special edition 2 days

MATSU
from EXILE

登坂広臣 & ELLY
三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

岡山から日本を元気にするフリーペーパー

OKAYAMA MOVE UP

発行人: 源 眞典(株式会社HEADLINE WEST) / 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング4F TEL:086-250-8089
編集・製作 株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6バルビゾン3 403号

HEADLINE WEST TOKYO HEADLINE
Free news is good news

三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

ELLY

日本を元気に！

自分がやるべきこと、できることを精いっぱいやる

三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE のパフォーマーとして活躍中の ELLY。10月30日には10枚目のシングル「冬物語」をリリース。そして、来年1月からは、1年ぶりに全国ツアー「三代目 J Soul Brothers LIVE TOUR 2014 “BLUE IMPACT”」もスタート。圧倒的なパフォーマンスでファンを魅了する ELLY が新曲やライブ、メンバーへの思いを語る。(聞き手・一木広治)

7人のパワーが集結したライブでファンに衝撃を与えたい

一木「先日、リリースした新曲と1月からの全国ツアーについて教えてください」

「10月30日にリリースした“冬物語”は、三代目ならではの表現ができていて冬のバラードです。ボーカルがどういう気持ちで歌っているのかを聞いたときに背中を押すような気持ちと言っていたので、自分たちのパフォーマンスも切なさ表現するというより、ボーカルの声と曲と意味と世界観を押し上げるようにしました。ですから、聞いていただいた人に勇気を感じていただける応援歌になっていると思います。また、今回は1曲すべての振り付けをさせてもらって、それは

自分にとっても挑戦でした。バラードですし、花火の時より難しい曲調だったので、ダンスが想像しにくかったんですが、とにかくずっと曲を聞いて、一生懸命考えながら作りました。おかげで、この曲を支えるようなパフォーマンスを作れたと思いますし、ダンスありきのバラードという三代目ならではのものが作れたと思います。すごくエネルギーを使いましたが、バラードで踊るっていうグループは珍しいですし、花火の時もそうなんですが、こういうのは僕らにしかできないと思っているので、新境地が開けた感じがします。また年明けからの全国ツアーは、“BLUE IMPACT”と

いうタイトルなんですが、これは三代目のイメージカラー青と、見に来て下さる皆さんに衝撃を与えたいという意味を込めました。僕らはそれぞれひとりひとり個人活動もやらせていただいて、それぞれのパワーがすごく成長しているので、7人が集まった時、すごく大きなエネルギーが出ると思うんです。それを感じていただければいいなと思って。EXILE TRIBE の中で三代目ならではの衝撃を与えられれば。前回から何倍も成長した自分たちでいなきゃいけないスピード感でいろいろやらせていただいているので、それをライブで出し切りたいと思っています」



一木広治 (ICHIKI KOJI) 株式会社ヘッドライン代表取締役社長 / 二十一世紀倶楽部理事事務局長 / ライオンズ日本財団評議員 / 株式会社LDH エグゼクティブプロデューサー / 株式会社ローソン顧問 / 株式会社モブキャストエグゼクティブプロデューサー / アンファー株式会社顧問 / 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事業広報アドバイザー / 淑徳大学人文学科客員教授 (2014年4月～)



失敗した時は常に自分を冷静に保つようにしている

一木「ELLYがダンスに出会ったのはいつ？ またいつも明るくて前向きなイメージだけど、落ち込むこととかはないんですか？」

「実は、東京に出てきたのはダンスをしに来たんじゃなくて、プロ野球選手になるために、大学の特待生で上京したんです。でも野球をやりながらもクラブとかも好きで行っていたら、ステージで踊っている人がすごくかっこ良くて。それで自分でもダンスをやるようになって、しばらく野球とダンスを両立していたんですね。でも中途半端なことができなくて、勉強と野球を全部捨てて、ダンス一本でやっていこうって決めました。バイトをすることもできない性格だったので、親にはダンスで形を作るのに、1年だけ待ってとお願いして、一日中ひたすら1人で練習していました。誰にも教わらず、自分がやりたいダンスってどういうものなんだろうってとにかく必死に。学生時代がむしゃらに野球をやって、それで東京に出てこられて、そこからダンスの道に入って、今こうしている。考えれば不思議だし、すごいことですよ。そんなふうに、思い込んだら一直線だし、僕自身は前向きな人間だと思われているので、そういうふうに振る舞っているところもあります。でも無理にしているわけじゃなくて、それも自然な姿なんですけど、意外と考えるタイプですよ（笑）。自分の中でダメだったり、失敗したりした時に、どうでもいいって振り切ってプラスに変えるというより、一回自分の頭の中で、ぐるぐる回すんです。そしてそれをどうやっていくのがいいのか、どういう方向に持っていくべきなのかをじっくり考える。常に自分を冷静な状態に置いておきたいので、何かがあった時にはなるべく冷静にしっかり自分を保つようにしています。そしてその状況を理解して、プラスに変えていけるものを探しますね」



三代目 J Soul Brothers の名前を輝かせたい

一木「三代目としての夢とか目標は？」

「まず、三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE」というこの形式は独特だと思うんです。すごく新しい形態だし、戸惑うお客さんもいるかもしれないけど、EXILE TRIBEという大きな集団の中に三代目があるというのをだんだん理解してもらっていると思っています。ですから、ファンの方がもっともっと楽しみにして下さり、EXILE TRIBEというエンターテインメントがどんなものか広く知っていただいたときに、ディズニーランドのような何が起こるか分からない素敵なエンターテインメントの場所になると思います。その中で三代目は、まずボーカルが何でも歌えるっていうのが第一にあって、そこからどんなものでも表現できるパフォーマンスがあるっていうのが特徴です。三代目のイメージは花火のようなバラードだったり、冬物語のパフォーマンスだったりすると思うので、それを期待してくれているファンの皆さんを裏切らないようなパフォーマンスを届けたいですし、そこからまた成長して

いく上で、それプラス何か武器を増やしていければいいですよ。自分がここまでやっているのは、メンバーから刺激を受けていることが大きいですし、自分のパワーを上げてくれるメンバーに、自分もパワーを与えたい。だから自分を成長させてくれるグループだということと、三代目の前には、二代目と初代がいて、J Soul Brothersというのは、HIROさんが大切にしている名前なので、三代目の名前を輝かせるために、一生懸命やっていきたい。個人として、三代目をどう輝かせるかという意識は常にありますし、自分に何ができるかを考えて三代目に持っていく。そうやっていくことが、三代目のためになると思うし、EXILE TRIBEの中でオリジナルのパフォーマンスを出していくことができるんじゃないかな。三代目としてやりたいことはまだまだいっぱいあって、先ほども言いましたが、来年はアリーナツアーをやらせていただくんですけど、そのほかにも今後やっていきたいステージはたくさんあります。例えばドームツアーだったり、スタジアムツアー

だったりなんですけど、そういうのをひとつひとつやっていくことで次の目標ができると思います。あと個人としては、パフォーマンスやダンスで自分たちを知ってもらっているファンの皆さんがいるわけですから、自分がやるべきダンスをしっかりやって、それプラス自分ができる活動をしっかりとやっていきたいです。ラジオで喋ったり、演技をしたりもそうですが、先日東日本大震災の復興支援の「未来への道 1000km 縦断リレー」で走ったような活動もしていきたいです。特に僕は東北（青森）出身なので、東北の方を元気にしたいですし、東北のやつが頑張っているなと思ってもらえればうれしいですね。2020年には東京オリンピックの開催も決定しましたし、それまでに自分ができることがあれば盛り上げたい。東北にも海外から観光客が訪れるようになればいいし、世界中から人が来るので、ぜひ自分たちのパフォーマンスも見てほしい。7年後は、三代目のデビュー10周年なので、そんな節目の年に東北と日本を盛り上げられたらすごく幸せですね。

三代目 J Soul Brothers らしいファンの 皆さんを裏切らないようなパフォーマンスを届けたい

岡山の人へ感謝とメッセージ

この前ラジオの収録で岡山に行った時に、すごく温かく迎えていただき、本当にうれしかったです。大勢の人が集まって下さって、盛り上げていただき感謝ですね。街の雰囲気が自分の田舎（青森県・三沢）に似ていて、こういう場所でも自分たちを待っていてくれる人がいるんだなって思うと感動しました。今度はぜひライブで行ってパフォーマンスを生で見ていただきたいです。来年のツアーには入っていませんが、別の機会に自分たちで何か企画して、ぜひ岡山のみなさんと直接触れ合えることができたらと思います。岡山を EXILE TRIBE で楽しくできたらいいですね。



ELLY'S POSITIVE ITEM

いつも前向きな ELLY の気持ちがアがるポジティブアイテムを紹介

映画



アイアンマンシリーズが大好きです。今までにないヒーローですし、あんなヒーローに自分もなれたらいいなと思います。見るとめっちゃ元気になれるし、とにかく単純に面白い！

音楽



マイケル・ジャクソンとかも大好きですが、意外かも知れませんが、ジャズとか民謡も好きですね。一番最初に踊ったのが青森の三沢祭りの盆踊りでしたし、津軽三味線の音色を聞いて育ったので。

風景



落ち着くのは空を見上げている時。場所はどこでもいい。だから世界中で落ち着くことができる(笑)。雲がある空が好きで、雲を見てると楽しくなるし、いきなり何かの形に見えたりするのも面白いですね。

PRESENT

ELLY のサイン入り色紙を読者1名にプレゼント！

応募方法などの詳しい内容は「OKAYAMA MOVE UP」公式 facebook ページよりご覧下さい！

OKAYAMA MOVE UP

検索



INFORMATION

New Single

「冬物語」

【CD+DVD】RZCD-59458/B 1890円(税込)

【CD】RZCD-59459/7 1050円(税込)

■ CD 収録曲

M1. 「冬物語」

※ NTV PON! 11月エンディングテーマ

※ ハウスステンボス「光の王国篇」CMソング

M2. 「T.T.T. (TOP TO TOE)」

※ ABC マート「VANS ブーツスニーカー」CMソング

M3・M4. 各曲 Instrumental

■ DVD 収録内容

◆ 1. 「冬物語」(Video Clip)



約1年ぶりとなる全国ツアースタート！

2014年1月8日(水) マリンメッセ福岡を皮切りに全国12都市30公演と大規模な全国ツアーをスタート！デビューしてから約3年、駆け抜けてきた集大成のステージこれまでの三代目J Soul Brothersとは、一味違う白熱したパフォーマンスを魅せます！！

【福岡】	マリンメッセ福岡	1/8(水)、1/9(木)
【三重】	三重県営サンアリーナ	1/18(土)、1/19(日)
【兵庫】	ワールド記念ホール	1/22(水)、1/23(木)、1/25(土)、1/26(日)
【東京】	国立代々木競技場第一体育館	1/31(金)、2/1(土)、2/3(月)、2/4(火)
【広島】	広島グリーンアリーナ	2/8(土)、2/9(日)
【宮城】	セキスイハイムスーパーアリーナ	2/15(土)、2/16(日)
【大阪】	大阪城ホール	2/19(水)、2/20(木)、2/22(土)、2/23(日)
【神奈川】	横浜アリーナ	2/26(水)、2/27(木)
【愛知】	日本ガイシホール	3/5(水)、3/6(木)
【静岡】	エコパアリーナ	3/15(土)、3/16(日)
【新潟】	朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター	3/21(金)、3/22(土)
【北海道】	北海きたえーる	3/29(土)、3/30(日)

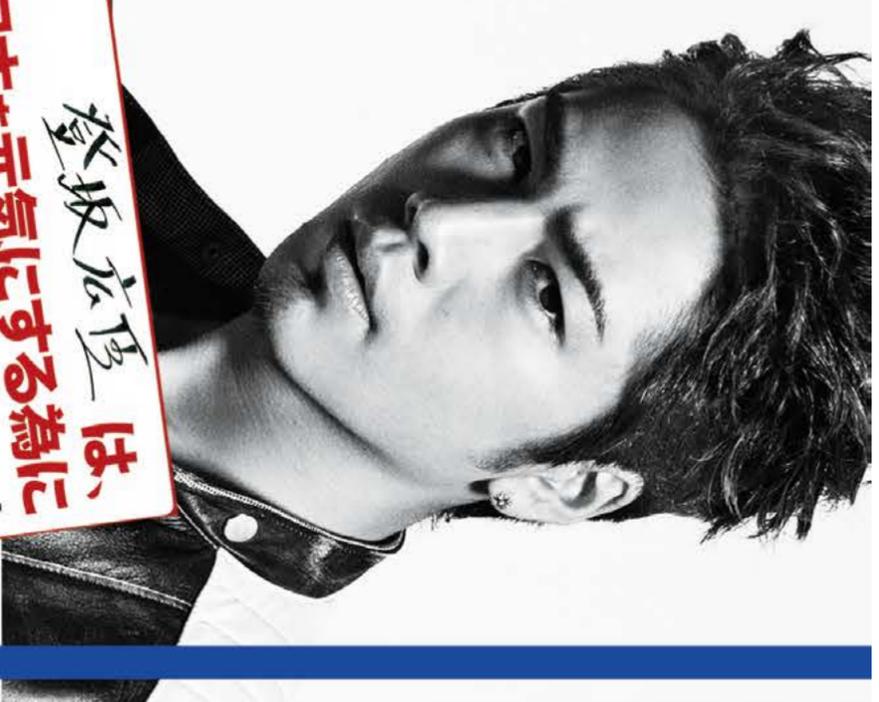
指定席 8500円(税込) 6歳以上有料、5歳以下入場不可

POSITIVE | 金言 | 「(自分が) 生き残ったのには理由があるはず」(アイアンマン/トニー・スターク)



は、ELLY
 日本を元気にする為に
 工券を元気に
 一日善し続けよう！
 日本を元気にする為に
 MOVE UP ACTION!

Handwritten signature



は、登坂広臣
 日本を元気にする為に
 最高の歌を届けよう！
 日本を元気にする為に
 MOVE UP ACTION!

Handwritten signatures





2013.10.11
RADIO JAPAN MOVE UP
special edition
at okayama move up cafe

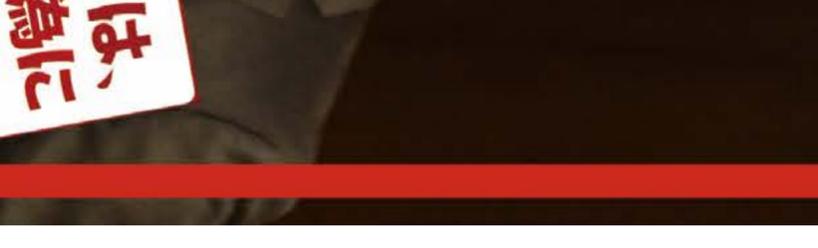
JAPAN





MOVE UP!!





EXILE



は、EXILE 日本を元気にする為に
目 笑
日本を元気にする為に
MOVE UP ACTION!!



2013.10.12
RADIO JAPAN MOVE UP
special edition
at okayama move up cafe

JAPAN





MOVE UP!!





Aya E-girls Dream

女性ボーカル&ダンスグループ Dream のメンバーで E-girls でも活躍中の Aya のデビューのきっかけは、父親の出身地・岡山県で行われたオーディション。人見知りだけど負けず嫌いだっただという Aya が描く夢とは。

E-girls は日本中のみんなに可能性がある場所

初めてのオーディションに落ちてリベンジを誓う

芸能界を目指すきっかけは、小学校6年生の時に、お母さんが申し込んだオーディションです。一次審査に受かって、倉敷のチボリ公園が二次審査の場所だったんですけど、結局最終まで残ったのに落ちこちてしまって…。めちゃくちゃ悔しくて、そこで初めて芸能界に興味を持って、すぐにタレントスクールに入りました。そこでレッスンをしていた中学2年生の時に、エイベックスのオーディションを受けて合格し、中学3年生で上京しました。その最初に落ちたのは、倉敷チボリ公園のCMのオーディションで、当時住んでいた大阪でもCMが流れていましたから、すごく身近に感じていたのを覚えています。

メンバーの地元でライブができるのは幸せなこと

父の出身が岡山で、1歳ぐらゐまで住んでいたんですけど、全然記憶になくて、それ以降も行ったことがなかったんです。それが、倉敷でのオーディションで久しぶりに訪れて、その次はDreamの単独ツアーの時、メンバーのErieの地元ということで、遊びに行きました。それまでは毎年、Erieの実家から寮にきびだんごが送られてきて、それをみんなで寮の食堂で食べるのが恒例でしたから、岡山イコールきびだんごというイメージが強くて（笑）。あと、Erieの話す岡山弁のインパクトが大きかった。一番衝撃を受けたのは「～じゃけいのう」って言っていて、「じゃけい」だけじゃなくて、そのあとに「のう」って付くんだって（笑）。最近あまり岡山弁は出ないですけど、お兄ちゃんと電話している時は結構すごいです。でも可愛いんですよ、岡山弁。メンバーと岡山に行った時はErieの中学校にも行きました。メンバーの地元に行くのは初めてだったし、

すごくドキドキして。せっかくだからErieのよく遊んだ場所に行こうよって、みんなでロケバスに乗って中学校の保健室に入って先生とお会いしたり（笑）。あとは車の中から、ここで文房具を買ったとか、そんなことを聞いたりして。みんなが地元に来てくれてうれしいってErieも喜んでくれたし、私もErieの育ったところを見ることができてうれしかった。結構田舎でしたけど、Erieの住んでいるところ（笑）。あと、今年の春にDreamがCDをリリースした時に岡山に行ったんですけど、そのリリースイベントの中で一番人が集まって、一番盛り上がってくれたんです。もちろん、Erieの出身地っていうこともあると思うんですけどすごく感動したし、メンバーの地元でライブができるって幸せだなんて思いました。

間違えても忘れても絶対あきらめない気持ちが一番大事

最初のオーディションに落ちた時には、歌手になるうとこまたく思っていないでし。カラオケも行ったことなかったし、人前で歌なんて歌ったこともなかったの。でも中学2年生の時、エイベックスのオーディションを受けることになって、3年生になったら進路のことも真剣に考えなきゃいけないし、そのオーディションに落ちたら、タレントになることをあきらめようと思っていたんです。Dreamのオーディションだったので、絶対落ちると思ったし、両親にも辞めるって宣言してて…。でも結果は合格。しかもオーディションは2人で受けるもので、1番をそのもうひとりの子が歌って、2番を私が歌うという方法だったんですよ。その1番を歌った子がめちゃくちゃ上手で（笑）。これは絶対無理だって思ったらテンパっちゃって、歌詞が全部飛んでしまった。それで、結局最後まで全部“ラ”で歌ったんです。それでも受かったのは、多分絶対あきらめなかったからじゃないかな。間違えても忘れても絶対にあきらめない。それだけでした。そして東京に出てきて、レッスンの毎日。学

校が終わってから4時間ずっとレッスンで、それが高校卒業まで続きました。できなくて、悔しくて毎回泣いていましたけど、上手になりたいし、できる子の足を引っ張りたくないという思いだけで必死でした。でもそれが苦しいとは思ってなかったですね。今は何か目標を見つけて、そこに向かって頑張っていくって思考になっていますが、当時はただ単に今が楽しいって感じでした。ダンスが楽しくて、歌が楽しくて、だから毎日頑張れる。一時はDreamの活動が低迷して、自分たちで路上ライブをしていたこともあったんですけど、それもあったからこそ、目標を持つこと、それに向けて努力することが大事だと考えることができますが、学生時代は難しいことはまったく考えていなかった。今はE-girlsとしての活動が主なんですけど、E-girlsとしてもDreamとしてもライブツアーがやりたいです。そしてCDをリリースしたら1位を取りたいっていう気持ちが徐々に強くなっています。あと最近、すごく感じることはライブに子どもたちが来てくれるようになったこと。そしてその子たちから「Ayaちゃんのようにになりたい」とか「E-girlsに入りたい」というお手紙をもらうたびに、小さい子たちにも夢を与えている職業なんだなって感じています。しっかりしなきゃいけない、E-girlsみんなで頑張っている背中を見せないといけないって改めて思いますね。E-girlsという場所は日本中のみんなに可能性がある場所。女の子たちが夢の実現のために頑張れる場所だと思うので、目標としてもらえるように、これからも常に前に進んでいきたいと思っています。



Aya's

POSITIVE ITEM

GOODS

カメラが大好きで、メンバーをよく撮っています。みんなの自然な感じを撮って、家に帰ってフォトショップで編集するのが趣味(笑)。中学3年生の時に、現場でスタッフさんのカメラを借りて撮影していたら、センスあるよって言われて調子にのりました(笑)。独学ですが、メンバーを撮ったものがライブグッズのカレンダーになったりしているので、次はE-girlsのツアーで何かツアーグッズを作りたいな。

BOOK

少女漫画大好き！ Erie と私は漫画オタクで、「ワンピース」も二人でお金を出し合って全巻揃えたほど。普段はあまりドキドキしないので、恋愛漫画と韓国ドラマでそのドキドキ感を補っています(笑)。でも恋愛漫画を読みすぎて、三次元でドキドキしなくなっているので、それはちょっとマズイかも(笑)。少女漫画は私の人生で欠かせないものです。

FOOD

タイ料理にはまっています。でもパクチーは食べられない(笑)。私のこだわりは、トムヤムクンの中に中華麺を入れること。フォーじゃなくて、あくまで中華麺。ちなみに、Erie もタイ料理にハマっています。私が彼氏で、Erie が彼女みたいな感じで、トムヤムクン嫌いだったErieに無理やり勧めたら、すっかり好きになって今では一人で食べに行っている(笑)。

CHARACTER

なばたさんのこびとづかんのこびとが大好きです。ちょっとシュールなんですけど、すごくファンです。私のファンの



方がツイッターでなばたさんに私がファンだっことを言ってくれたみたいで、グッズを送って下さったこともあります。私は自分でもE-girlsとかEXILEのメンバーのキャラクターを書いているんですが、それをファンの方がお人形にしてくれたものとなばたさんのこびとたちをベッドに並べて寝ているくらい好き！

Photo by Aya
「SMILE ☆ PHOTO」

11月20日、E-girls ニューシングル「クルクル」リリース

「すごく元気になれるポジティブな曲です！歌詞の中に地球というワードがあって、壮大な曲。でもE-girlsらしい可愛らしさもあって、とっても素敵な曲なので、みなさんぜひ聞いてください」(Aya)



CD+DVD 1995円 (税込)

< CD > 01. クルクル 02. サヨナラ 03. Winter Love ~愛の贈り物~ 04. I Heard A Rumour ~ウワサ Wassap!~ 05. クルクル (Instrumental)
< DVD > 01. クルクル (Video Clip)

CD シングル 1260円 (税込)

< CD > 01. クルクル 02. サヨナラ 03. Winter Love ~愛の贈り物~ 04. I Heard A Rumour ~ウワサ Wassap!~ 05. クルクル (Instrumental) 06. サヨナラ (Instrumental) 07. Winter Love ~愛の贈り物~ (Instrumental) 08. I Heard A Rumour ~ウワサ Wassap!~ (Instrumental)

CD シングル 510円 (税込)

mu-mo ショップ・LDH モバイルショップ・イベント会場
限定商品
< CD > 01. クルクル

Thank you! TEACHER

vol.05

ベーシスト
水谷浩章

教えている間は生徒、卒業後はライバル

ベーシスト、作曲家、アレンジャーとして活躍中の水谷さん。今年の大ヒットドラマNHKの「あまちゃん」では、劇伴（劇中曲）の演奏を担当したばかりではなく、主人公の祖母が歌謡ショーで歌う場面にもバックバンドとして出演。さらに、現在3つの学校や音楽スクールで、教えているという。生徒にはプロを目指すものから、趣味として楽しむ人までさまざま。そんな水谷さんが教えたいこと、そして喜びを語る。

自分なりのやり方で指導

現在は、洗足学園音楽大学とHot Music School、そして美学校で、JAZZを教えています。もともと、人に何かを教えることは得意ではありませんでした。多分、自分がちゃんと音楽のことを理論的に教わったことがなかったからだと思うんですけど。ですから、半分自己流というか、現場で学んだことを生徒に伝えている感じです。最初のころのレッスンでは、テクニックとしてはできるんだけど、その名前が分からなく生徒に教えてもらうこともあったぐらい（笑）。ただ、僕の場合はスコアのないフリーの演奏を即興でやるというようなことが多いので、自分の経験からほかの先生に教えてもらえないようなことを教えてあげようって思っています。パークリーに行って

いて、理論とかをしっかりと教えられる先生もたくさんいらっしゃるの、それはお任せして、僕だから教えられることを考えたら、今のようやり方になりました。

先輩のスコアを手書きでコピー

子供のころからバンドをやっていて、そのころってちょうどフュージョンが流行っていて、ポップスとかもちょっと混ざっていた。具体的に言うとスティービーワンダーとか。ポールサイモンとかポールマッカートニー、スティービーワンダーの中の誰かみたいになりたいと思っていたけどなれなかった（笑）。で、高校の時に先輩のバンドで、ジェフ・ベックやリーリトナーなんかをやっていて、JAZZのことが分かればいろんなことが分かるんじゃないかと思って大学ではJAZZ研に入ったんです。でも僕らの若い時は教本とか教材は一切なかった。情報も全然ないし、先輩の手書きのものを借りて写していましたもん。今は教材とかものすごく充実していますし、音楽大学に行けば先生もいっぱいいる、いい時代ですよ（笑）。

基本を教えて応用できるように

エレキでもウッドでも楽器をコントロールすることが大事なので、まず力を抜いて楽なフォーム

水谷浩章（みずたに・ひろあき） ベーシスト
12歳のころよりエレクトリック・ベースを始め、大学在学中からジャズのライブハウスなどで音楽活動を開始する。アコースティック・ベースを吉野弘志氏に師事。現在は、自己のユニットphonolite (Fl, Sax, Tb, Strings等を含む12人編成の変則ジャズ・オーケストラ)を主宰するかたわら、ジャンルを問わずさまざまなアーティストのアルバムをプロデュース。坂田明トリオ、南博Go There、大友良英NEW JAZZ Trio、津上研太BOZO、芳垣安洋Vincent Atmicus、他多数のユニットに参加。また、作曲家、アレンジャーとしても活躍中。

がしっかり身につくように指導しています。その基本をきちんと教えて、それから練習のやり方、その練習したものを応用して、自分で使いこなせる方法を教えます。理論的なことを手とり足とりじゃなくて、基本的な考え方ですね。あとは本人が悩んでいることや、足りないところをアドバイスしながら、一緒に練習する。いろいろ話しながらやっていくうちに、僕自身も新たなことを思いついて、知らない間に新しい練習方法を発明している時も（笑）。音楽はハーモニーとリズムとそれをコントロールするテクニックが必要なんですけど、ハーモニーは理論的なことで、リズムのことをトレーニングするには練習が不可欠なんです。自分はあまりリズムが得意なほうではなかったたので、それを得意にするために練習していた方法なんかも生徒には教えますね。

生徒に教える喜び

教えている間は生徒だけど、卒業したらライバルですから。仕事を取られないようにしないと（笑）。教えているのはベースの子だけじゃなくて、ほかの楽器の子も教えているんですよ。（洗足の）副科はすごくおもしろいシステムで、純粋にベースをやってみたくも来るし、ほかにもセッションを一緒にやるっていうだけの子もいて、そんな感じでフルートの子やピアノの子ともつながりがあるので、その子たちが仕事に呼んでくれた時はうれしいですね。卒業した子が活躍して、自分を仕事に呼んでくれて、一緒に演奏できる。子どもが大きくなって、対等に仕事をするのは楽しいですし、人に音楽を教えていて、一番うれしいのは、そういう瞬間かもしれませんね。



Be POSITIVE

Culture/Item/Entertainment and more

人に元気を与える人になるには、自分自身が元気でハッピーじゃなきゃ。ムカつくこと、悲しいこと、情けないこと、失敗すること、心が痛くなる出来事…。毎日毎日嫌なことはあるけど、ほんの少し見方を変えて見ることで、気持ちは前向きに立て直せるはず。そんな時、そっと背中を押してくれるさまざまなモノ。友達、家族、ペットなど心許せるモノをはじめ、楽しい映画、ノリノリの音楽、感動的な本など、心に響くものを誰でもひとつ持っている。

また、それだけではなく、髪形を変えたり、旅行に行ったり、美味しいものを食べたり、やってみたかった習い事に挑戦したり、自分を変えてみることで、人生が楽しくなる方法もたくさんあるはず。そんなポジティブになれる最強のカルチャーやアイテムやエンターテインメントなどをご紹介します。あなたの気持ちがハッピーになるようなモノに出会えますように。

DEGITAL

選択の自由か、それとも厳選スマホか ドコモ、KDDI、ソフトバンクが冬春新端末を発表

携帯電話各社が冬春商戦に向けた新機種を発表した。今回各社が強調したのは、ネットワークの力。端末については、重点を絞る傾向と選択の幅を持たせる方向と各社でばらつきが出た。

ソフトバンク ネットワークの強さ強調

ソフトバンクは9月30日に発表会を開催。孫正義社長はプレゼンでネットワークの力強さについて多くの時間を割いて「つながりやすさNo.1」を、猛アピール。さらには来春から開始するプラチナバンドLTEのサービスも提供する。「端末を何機種もラインナップする時代ではない」とし、端末は重点を絞って投入。スマホは、ディスプレイがスマホ表面の80.5%を占める大画面が特徴の「AQUOS PHONEXx」、世界最小サイズながら全身大画面の「AQUOS PHONEXx mini」、10分で約1日分の充電が可能な「Arrows A」、そしてディズニーモバイルの4種。フィー

チャーフォンが2機種、ポケットWi-Fi、体組成計もふくめ、11月下旬から発売。

ドコモ 選択が豊富なスマホ9機種

NTTドコモは、冬春シーズンに新スマホ9機種を投入することを発表。3社のなかでは一番選択が豊富なラインナップだ。新機種は「Xi」に対応。さらに、全機種で実使用時間50時間を実現。新機種の投入で巻き返しが期待される。

KDDI オリジナルスマホ「isai」に注目

KDDIはが冬春に投入するスマホは6機種。なかでも注目は、LGと共同開発したオリジナルスマートフォン「isai」だ。手になじむデザイン、大きなディスプレイはいうまでもないが、大きな特徴がアプリを起動しなくてもホーム画面で最新情報を見ることができる「isaiスクリーン」。ホーム画面を縦方向や横の方向にフリックすると、



「GALAXY Gear」は、スマートフォンのGALAXYシリーズと同期して、スマホを操作しなくても電話をかけたり撮ったり、メール、SNSなどの確認ができる。カメラも搭載している。

ニュースやトレンド情報、SNSや動画などを確認できる。他スマホは「Xperia Z1」、「GALAXY Note3」「AQUOS PHONE SERIE」「ARROWS Z」「DIGNO M」。アクセサリも充実させる。

BOOK

誰にも聞けないから、ふたりで真面目に考えた

『どうして人はキスをしたくなるんだろう？』

みうらじゅん・宮藤官九郎

ゆるキャラ」や「マイブーム」といった流行語を生み出し、さまざまなサブカルブームの仕掛け人であるみうらじゅんと、映画監督、俳優、ミュージシャンなど多方面で活躍、NHK連続テレビ小説『あまちゃん』では脚本家として、日本中を熱狂させた宮藤官九郎の対談本。その内容といえば、中2病をこじらせた文系男子の口マンチックで下世話な哲学問答集。「男と女」、「人生」、「仕事と遊び」の「わからない」を、真剣に語り合う。といってもこの2人のこと、「どうして人はキスをしたくなるんだろう」というテーマでは、それぞれのファーストキス体験から学んだ、なんともトホホな結論を導き出す。とにかく、くだらなくバカバカしい2人の脱線トークと永遠の中2男子のような悩みに、ついニヤニヤとしてしまう。同書には素朴な疑問全35テーマを収録。その中にあなたが求める答えがあるかも？!



【著者】みうらじゅん・宮藤官九郎【定価】1200円（税別）【発行】集英社

GOODS

ホームパーティーを楽しく演出

スイーツ&デリ作りをサポートし、ホームパーティーなどをスタイリッシュに演出する新キッチンツール「TOKYO sweets」シリーズが発売された。

同シリーズは、ティラミスやマカロンなどの大人気定番スイーツを中心としたスイーツ作りをサポートするセット3種と、器代わりになるキューブ型やスプーン型のタルト生地が簡単に作れるセット3種の計6種類がある。それぞれにスイーツ系2～5種、デリ系2～3種のレシピカードが付いている。簡単、手軽にテーブルに彩りを添え、おしゃれで楽しいパーティーを演出しよう！



【価格】1365円～2100円（税込）【問い合わせ】貝印お客様相談室 TEL: 0120-016-410

POSITIVE | 金言 | 「毎日、今日が人生最後の日かもしれない、と考えるとすれば、いつか、必ずその考えが正しい日が来る」(スティーブ・ジョブズ)

特別展『京都—洛中洛外図と障壁画の美』公開記念企画

ATSUSHI が語る 「悠久の時を超える思い」

EXILE・ATSUSHI と、映画音楽界の巨匠・久石譲が奇跡のタッグを結成。400 年前の京都の息吹を今に伝える美しき名曲を生み出した！ 特別展『京都』テーマソング『懺悔』の誕生秘話を、ATSUSHI が語る！

〈洛中洛外図屏風 舟木本〉に圧倒

「とにかくすごいオーラでした（笑）。かなり大きくて、まずその迫力を感じたんですが、近寄ると建物や人々がすごく細かく描かれているのが見えて、気づいたら 400 年前の京都の世界に入り込んでいました。今回の展覧会では、いろいろな洛中洛外図が展示されていますが、中でも〈舟木本〉は人々の姿がとてもリアルに描かれていて、すごく面白い。聖職者であるお坊さんがケンカを囁き立てていたり、子供がいるのに不倫をしに行こうとしている女性がいったり、お花見帰りの酔っ払いがいったり（笑）。とくに印象に残っているのが、橋の欄干から川か何かを悲しげに見つめている家族の姿ですね。いろいろな姿が描かれているなかで、その部分が妙に意味深なんです。亡くなった家族をしのんでいるのかもしれないそうです」

久石譲の言葉が ATSUSHI を変えた!?

「久石さんと一緒に鑑賞したんですが、作品もさることながら、僕にとっては久石譲さんと一緒にいるということも特別なことでした。実はそのとき久石さんの言葉に、僕はすごい衝撃を受けたんです。それまで僕には、理想論として何にも縛られず自由に作品を作ることが芸術家の美学だというような意識が少なからずあったんですけど、久石さんの話を聞いて、はっとさせられたんです。〈舟木本〉には注文主がいるんだろうかという話になり、久石さんが、ヨーロッパでもオペラは貴族などから“こういうオペラを作ってくれ”と注文を受けて芸術家が作るケースがほとんどだった、という話をしてくれました。現代でいえば CM ソングとかドラマの主題歌とか、オーダーを受けて、もらったテーマで曲を作るようなことですね。昔から多くの芸術家たちが、そうやって名曲を生み出してきた。それに



公式テーマソング『懺悔』の作詞を担当したATSUSHIと作曲を担当した久石譲。奇跡のコラボが生んだ名曲に、手掛けた本人たちも大満足の笑み

気づいた瞬間、心が晴れた思いがしたんです。今後の僕のアーティスト人生が変わるほど大きな

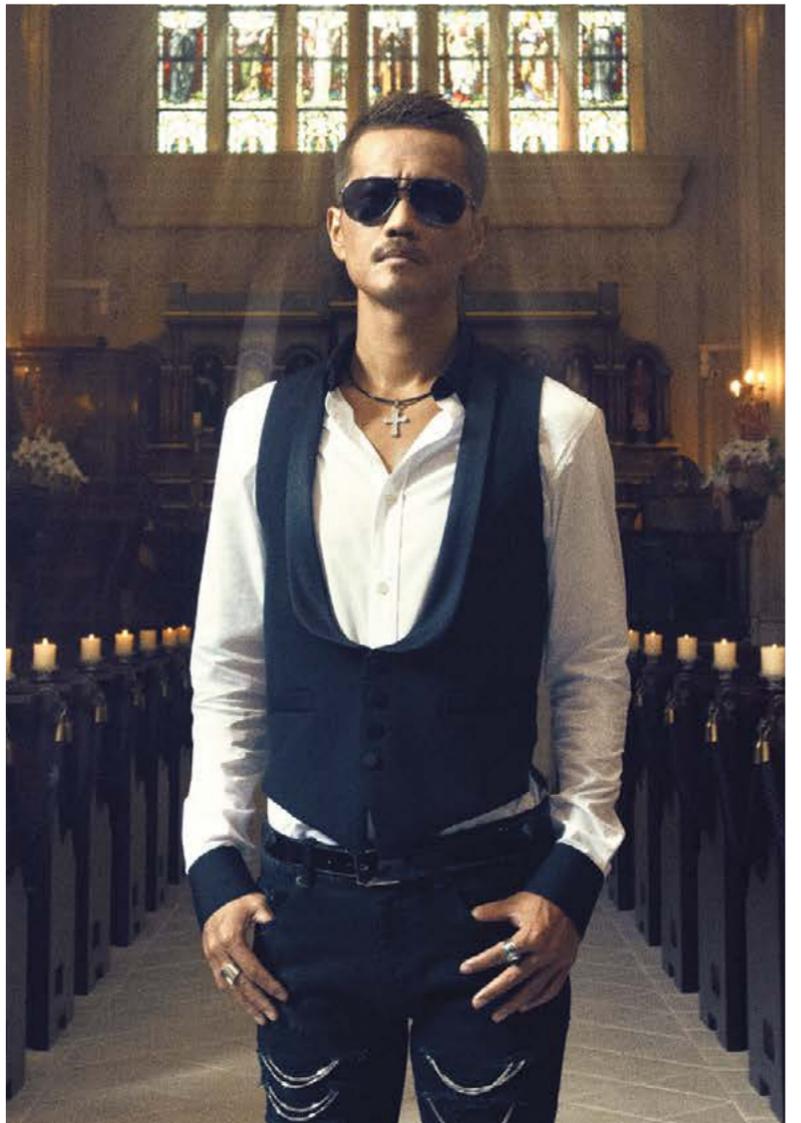
出来事でした」

先人に思いをはせ生まれた『懺悔』。

「久石さんが作ってきた曲を最初に聞いたときは正直、なんて難しい曲だと思いました（笑）。メロディーの中に独特の転調があったりして、これは歌詞をつけるのも難しいなと思いましたね。でも僕は、音楽家としての久石さんにも絶対の信頼を置いていたので、なにか意図があってこういうメロディーにしているはずだと考えたんです。すでに〈舟木本〉を見た帰りの車の中で、思い浮かんだ言葉をパーツと書き綴ってあったので、とにかく、それをもとに曲に合わせて歌詞を書き始めよう、と。実際、書き始めたら 1～2 時間でほぼ仕上がりました（笑）。歌詞には、400 年前に音楽を奏でていた人たちがどんな思いを込めていたんだろう、きっと人間たちの争いを悔い、平和な未来を願ったんじゃないか。そんな思いをつづっていきました。今回、歌詞に一人称を使っていないんです。僕が私、といった個人的な思いを書くのではなく、先人たちの思い、人間たちの思いを洛中洛外図を見るように、俯瞰で表現したいと思ったんです。“筆策（ひちりき）”は、自然と出てきましたね（笑）。学生時代に雅楽をやっていた友人がいたこともあったんですけど〈舟木本〉に描かれている神事や、京都というイメージから雅楽が思い浮かびました。最初に歌詞を曲にはめたときには“やっぱり久石さんはすごい！”と思ってゾクゾクしました（笑）。こうするために、あのメロディーを書いたんだ、と。そのゾクゾク感を感じたまま試みに歌ってみたんですけど、実は収録されている音はほとんどそのときのものが使われているんです。だから収録された曲には、僕の最初の感動がそのまま込められています。完成した曲を 2 人で聞いたときは、本当に感動しました。お互いに“すごいものを作っちゃったね”って（笑）」

必見！国宝で撮影した究極の PV

「京都では、国宝に指定されている東福寺の三門の



中で撮影させていただきました。そこはお坊さんが懺悔をするための部屋で、本来は年に数回しか公開されない場所なんです。“懺悔”はキリスト教でよく使われる言葉ですが、実は仏教にもあるんですね。“さんげ”と読むらしいです。部屋には釈迦如来像と 16 体の弟子たちの像があって、特別にかなり近くで拝ませて頂いたんですが、僕は感動のあまり 30 分ほどお釈迦様の前から動けなかったんですよ。PV の中でサングラスを外してお釈迦様と向き合う場面は、演出でいい感じになっていますけど（笑）。1メートルほどまで近寄ると、お釈迦様の視線は、僕たちの目を見つめているのではなく、胸に視線が来るんです。すなわち心を見つめているんだという事に気付かされました」

京都でも見ることができない“京都”

「展覧会は EXILE のメンバーにもぜひ見てもらいたいですね。NAOKI や NAOTO あたり、好きなんじゃないかな？あと、ボーカリストにとくに見てほしい。TAKAHIRO や SHOKICHI、NESMITH とか。表現者として、すごく刺激になると思うんですよ。皆さんもぜひ音声ガイド付きでの鑑賞をおススメします。作品について知るとさらに楽しめるので。ぜひ 400 年前の京都の世界に浸ってください！」

(秋吉布由子)

特別展『京都—洛中洛外図と障壁画の美』見どころ紹介

戦国時代末期から江戸時代初期、約 400 年前の京都を彩った多彩な文化を、国宝や重要文化財などの貴重な名品の数々、そして最先端の映像技術で体感する、この秋、大注目の展覧会。会場では国宝・重要文化財に指定されている『洛中洛外図屏風』全 7 件すべてを展示。そのうち、当時の風俗を緻密に描いたことで知

られる『洛中洛外図屏風 舟木本』を高精細画像で巨大スクリーンに拡大投影。他にも龍安寺や二条城、京都御所の魅力を、それぞれの名品とともに紹介。まさに“京都でも見ることのできない京都”を堪能できる。

【期間】開催中～12月1日(日) ※会期中、一部作品は展示替えあり 【会場】東京国立博物館・平成館(上野) 【時間】9時30分～17時 ※金曜と11/2,3は20時まで。11/4は18時まで(入館は閉館の30分前まで) 【休】月曜 ※10/14, 11/4は開館、10/15, 11/5は休館 【料金】一般1500円 大学生1200円 高校生900円 【問い合わせ】03-5777-8600(ハローダイヤル) 【交通】JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分 【URL】http://www.ntv.co.jp/kyoto2013/



『洛中洛外図屏風 舟木本』(部分) 岩佐又兵衛筆 江戸時代・17世紀 東京国立博物館蔵



私にとって
陶芸家とは、

際限ない世界

ACROSS THE

1 この職業を目指すようになったきっかけ

最初はもの作りが好きで大学に入り、金属や漆、焼き物を選ぶ中で、実際に夢を叶えられる素材として、設備的にも小さい規模からでも始められる焼き物が一番可能性が高かったからです。そこで焼き物を勉強していくうちに、自分の作ったものが、誰かの手に渡っていったときに、自分の作ったときの想いとは違う使い方をしてもらい、『作品が違う人生を歩む』というところに魅力を感じ、この道に進むことを決めました。

2 尊敬している人はいますか？ またその理由は。

やはり伊勢崎先生です。先生はオブジェのような造形的な作品も作られていて、備前では今までの人間国宝の先生の中でも珍しいものを作られています。新しいものを常に作り出していてとても尊敬しています。

3 今の仕事をする中で学んだ最も大事な事は？

備前焼は、その内容の半分が土づくりなんです。そこがすごく特殊な部分なんですけど、やはり土の色がそのまま作品に出るので、特にこだわっています。大学時代は、土の業者から買ったものを何気なく使っていたのですが、今は大地から掘り出された原土を砕いて練ってという作業をしていくなかで、「これを使っているんだ」と改めて素材を知ることです。

4 これだけは絶対誰にも負けない、負けたくないというところ

『焼き物が好き』という想いは自身があります。もちろん作ることもですが、よくギャラリーなどに行って、個展をされている作家さんの作品を買ったり、今活躍されている作家さんのことなるべく勉強するようにしています。ただ作ることだけが好きということではなく、焼き物全体が好きですね。

5 仕事をする中で、大切にしていることは何ですか？

自分のことというより、今は先生の弟子をしているので、まずは先生の力になり、その中で後から気づくでもいいので、自然と勉強できればということを目指しています。今は、自分自分とならないように心掛けています。

6 今の仕事を一言で表現するなら何ですか？

『際限ない世界』

OKAYAMA 後関裕士 (陶芸家) HIROSHI GOSEKI

1988年1月2日 千葉県船橋市生まれ。
東北芸術工科大学 美術学部 陶芸コースを卒業後、現在、伊勢崎 淳氏に師事する。





撮影・蔦野裕

終わりがなき
試み

私にとって
陶芸家とは、

RAINBOW

TOKYO

前沢幸恵（陶芸家）

YUKIE MAEZAWA

1983年12月10日 東京都生まれ。

2010年 東京藝術大学美術学部工芸学科陶芸専攻卒業

2012年 東京藝術大学大学院美術研究科陶芸研究領域

卒業。2012年 独立し、東京都墨田区に築窯。現在、ギャ

ラリーや百貨店などでの展示、販売を主に活動中



1 この職業を目指すようになったきっかけ

実家が木工芸の職人の家系だったこともあって、小さいころから工作が大好きで、中学に進学する時には美術系の学校を選択していました。それからは絵画や彫刻、デザイン、いろいろジャンルを限らず学びましたが、やっぱり物を作る事が好きというのが根底にあったので、大学では工芸科を専攻し、陶芸家になろうと志しました。

2 この仕事にやりがいを感じる時

陶芸のいいところは実際に使ってもらえるところだと思います。作り手と使い手が一緒になって作品を仕上げるような感覚だと思います。買っていただいた方から、後日、花や料理を添えて実際に飾っている写真などをお送りいただいたりして、感想を言っていただけることがあったりすると、この方の人生に少しでも華を添えられたような気がして凄く励みになります。

3 今の仕事をする中で学んだ最も大事な事は？

たくさんありますが、日々を大事にすることです。美術館やギャラリーで、または家で、アート作品や工芸品というものは眺めたり、飾ったり、使ったりして楽しむものです。心に余裕がないと中々楽しめるものではありません。常に自分の感覚に正直に、好きなものを自分の中に取り入れる、心に余裕を持ちたいと考えています。

4 これだけは絶対誰にも負けない、負けたくないというところ

工芸品はすべて手作業「一点物」です。ものが溢れている現代ですが、ものづくり作家の一人として、使い手や使う空間のことを思って、一点一点心を込めてオンリー1の作品をと思って制作しています。その気持ちでは決して遅れをとってはいけないと思っています。

5 仕事をする中で、大切にしていることは何ですか？

自分のキャラクターを知る事です。私の作品を選んでくれる人は、誰の作品でもなく『私の作品』を選んでくれるわけです。自分にしか作れないものは何なのか、ひいては自分とは何かという問いに対して、その答えとして作品が出てくるので、常に自問自答しながら世界で一つの作品を目指して制作しています。

6 今の仕事を一言で表現するなら何ですか？

「終わりがなき試み」です。一つ制作すると、次はこうしようとか、こうしてみたらどうかと次につながっていきます。だからこそ、常に何でも取り入れられる柔軟性を持ちたいと思っています。